



第2会場 ● 2F 自由研修室

■司 会／青木 拓夫 島根県雲南市教育委員会キャリア教育推進室 派遣社会教育主事
宮本 和代 北九州市市民文化スポーツ局生涯学習課 社会教育委員

分科会の進め方 13:30~13:35

1 「ながとジュニアリーダーズクラブ」の組織と連携活動の実際 13:35~14:05

久保田 啓子(山口県長門市) 長門市教育委員会 社会教育指導員

平成17年7月長門市子ども会育成連絡協議会所属の組織として発足。注目は、高校生を中心とするリーダークラブです。大人と子どものパイプ役として活動しています。主な活動は、①公民館事業や単位子ども会行事との共催、②放課後子ども教室や市主催の成人式への参画・協力等です。毎月の定例会で事業の企画・準備・運営を話し合い実行しています。ここが、高校生による継続的な地域参加活動のポイントです。平成29年3月、山口県子ども会連合会ジュニアリーダー組織表彰を受賞しています。

2 三方良しの「新・職場体験」 14:10~14:40

田原 俊輔(島根県益田市) 益田市教育委員会 派遣社会教育主事
豊田 浩司(島根県益田市) 益田市教育委員会 主任主事

平成30年度、益田市内122の事業所と市内全11中学校が協働して「新・職場体験」を実施した。三方良しとは、「中学校・事業所・益田市」の三者にとって価値のある体験活動であるという意味。それは、故郷・益田への還流の種まきであり、後継者不足の問題解決に貢献する可能性が大きい。この取り組みは平成28年度より開始した。活動の軸は、「益田で子どもたちに出合わせたいたくさんの人」との出会いの積み重ね。事後アンケートでは、「益田には魅力的な事業所(職場)がある」と多くの中学生が感じていた。事業所にとって、真剣に学ぶ中学生の様子が、事業所の「負担感」を解消してしまった。

ティータイム 14:40~15:05

3 キャリア教育『夢授業』 15:05~15:35

木原 大助(福岡県北九州市) 北九州キャリア教育研究会 会長

2013年、ある北九州市立小学校の先生方と企画して始まった『夢授業』。目的は子どもたちの職業観を芽生えさせ、育てることで将来への夢を作り、将来への希望を持たせ、日々の学習や生活全てにおいて生きがいを作ること。2015年からボランティア組織として「キャリア教育研究会」が発足し、一般社会で楽しく熱心に働く職業人を学校へ派遣し、子どもたちと「どんな職業か」や「働くということの意義」について語り合うプログラムを実施する。現在、事務局40人、ボランティア800人の体制で運営している。延べ参加生徒数は46校3,708名を数え、実施校は毎年増えて行っている。また近隣の地域にも研究会を立ち上げている。

4 子どもたちが「楽しく学べる出前講座」への思いと活動 15:40~16:10

高橋 昌美(高知県高知市) 学び場人材バンク登録講師・地球33番地クラフト工房代表

NPO法人高知県生涯学習支援センターは、地域と学校が連携・協働して、子どもたちの成長を支え、地域を創造する県事業「地域学校協働活動」の協力団体として、市町村教育委員会や各活動場所等に人材紹介を行う「学び場人材バンク」事業を受託。登録者を夏休み等学校の長期休業日、児童クラブ、子ども教室、公民館等に派遣する「出前講座」を実施。10年前に講師として登録し、「楽しく学べる出前講座」として、オリジナルテキストを作成して活動している。年々教室(講座)依頼が増加。半年前からの予約もある。